



0325

兵衛

林

八月七日

結

滿洲派遣第九師團ノ狀況  
ニ就キ報告ス

昭和十一年十二月二十四日

前第九師團長山岡重厚

本職昨年十二月二日職ヲ第九師團  
長ニ奉シテ渡滿シ十二月二十日遼  
陽師團司令部ニ著任シ前師團長ヨ  
リ任務ヲ繼承セリ  
當時師團ハ南滿ニ駐屯セシカ本年  
四月中旬以降北滿哈爾濱地方ニ移  
駐シ治安肅正及作戰準備ニ從事セ  
リ

本職今般轉任ノ  
大命ヲ拜シ去ル  
十二月十七日新師團長ニ任務ノ申  
繼ヲ了シ上京セリ以下在任間ニ於  
ケル滿洲派遣第九師團ノ狀況ニ就  
キ報告ス

一治 安肅正

本職昨年未渡滿當時師團ハ新京鐵  
 嶺奉天遼陽周水子旅順錦州ニ駐屯  
 シテ各地ノ警備及訓練ニ從事セシ  
 カ時恰モ關東軍冬季治安肅正ニ當  
 リ歩兵第七聯隊ノ集成二中隊工兵  
 輜重兵各一小隊ハ第一獨立守備隊司  
 令官ニ屬シテ奉吉線東方地區ニ歩

兵第三十五聯隊ノ集成ニ中隊ハ第  
ニ獨立守備隊司令官ニ屬シテ敦化  
南方地區ニ步兵第十九聯隊ハ第三  
師團長ニ屬シテ哈爾賓東方地區ニ  
在リテ各、治安肅正ニ任シタリ  
二月下旬第一獨立守備隊司令官配  
屬部隊ヲ步兵第七及第三十五聯隊  
ノ各一大隊並輜重兵小隊師團通信

隊ノ一部ニ變更セラレタリ  
 昭和十一年度第一期治安肅正ニ關  
 スル軍命令ニ基キ師團ハ四月十一  
 日以降逐次主力ヲ以テ中防衛地區  
 (濱江省西部及吉林省榆樹縣)ニ  
 移駐シ本職ハ四月十二日正午第三  
 師團長ト交代シテ中地區防衛司令  
 官トナリ治安維持ニ關シ同地區内



日滿軍警ヲ區處シ海軍防備隊ト協  
 カシテ當該地區ノ防衛ニ任スル外  
 隨時ノ出動ヲ準備セリ、但步兵第六  
 旅團長ノ指揮スル步兵第七聯隊（  
 大隊缺）ハ新京ニ駐屯シ軍司令官  
 ニ直屬シ同地方ノ警備ニ任シ步兵  
 第七及第三十五聯隊ノ各一大隊ハ  
 依然第一獨立守備隊司令官ノ指揮

下ニアリ

當時中防衛地區内ニ於テハ拉賓線  
 又賓北線以西ノ地域ニ於ケル治安  
 ハ概テ良好ナリシモ右以東ノ地域  
 殊ニ賓綏線沿線地方ニ於テハ草木  
 繁茂ト共ニ冬季間潛行蟄伏セシ匪  
 賊ノ行動活潑トナリ治安甚タ不良  
 トナリシニ鑑ミ師團ハ同地域殊ニ

賓綏線沿線地方ニ治安肅正ノ重點  
 ヲ指向シ步兵部隊ノ大部ヲ同地域  
 ニ分散配置シ特設游撃隊三隊ヲシ  
 テ各々木蘭巴彥縣地方延壽縣及賓綏  
 線沿線地方五常縣地方ニ行動セシ  
 メ各部隊ノ協力ニ依リ匪賊ノ剿討  
 ニ努メタリ、步兵第十八旅團司令部  
 步兵第十九聯隊（一大隊缺）及特

科部隊ハ哈爾濱ニ駐屯セシム同地  
 附近ノ警備ニ任セシメタリ  
 此間各部隊ハ治安肅正ノ傍ヲ教育  
 ノ實施ニ努メタリ然ルニ五月末湯  
 原縣方面ヨリ趙尚志匪團西進シテ  
 木蘭縣地方ニ入り土着匪ト合流ス  
 ルヤ同地方ノ治安ハ著シク不良ト  
 ナレルヲ以テ在哈歩兵第十九聯隊

主力ヲ派遣シ同地方ノ肅正ニ任セ  
シメタリ

第一獨立守備隊司令官ニ配屬中ノ  
部隊ハ六月上旬師團ニ復歸シ同月  
中旬新ニ歩兵第七及第三十五聯隊  
ノ各一大隊ヲ第二獨立守備隊司令  
官ニ配屬シ京圖線沿線地方ノ治安  
肅正ニ任セシメタリ

第二期治安肅正ニ關スル軍命令ニ  
 基キ師團ハ八月以來第五獨立守備  
 隊司令官ニ中部地區（賓北線京賓  
 線拉賓線ニ沿フ地區）ノ治安肅正  
 ヲ委任シ又西部地區ノ治安肅正ヲ  
 安達站附近駐屯第三獨立守備隊ノ  
 部隊ニ擔任セシメ師團主力及新ニ  
 配屬セラレタル第十二師團ノ歩兵

一大隊並電信第三大隊關東軍自動車隊救護班ノ各一部ヲ以テ東部地區ノ治安肅正ニ任セシメタリ  
八月及九月ハ治本及思想工作ニ重點ヲ置キ各部隊ハ討伐行動ノ傍ラ訓練ニ從事シ且爾後ノ治標工作ノ準備ヲ行ヒ十月一日以降十一月末ニ互リ師團ノ全力ヲ擧ケテ治標工

作<sup>ル</sup>從事<sup>シ</sup>匪賊ノ徹底的<sup>ニ</sup>剿滅<sup>ヲ</sup>圖<sup>レ</sup>リ  
 而<sup>シ</sup>テ十月一日正午以後東北防衛  
 地區中松花江及牡丹江以西ノ三江  
 省ノ地域（綏濱縣ヲ除ク）ノ防衛  
 ヲ一時擔任シ又新京警備ニ任セシ  
 歩兵第六旅團ノ部隊ハ八月末以來  
 逐次師團ニ復歸セシメラレタリ



當時夏季草木繁茂最盛期ニシテ匪  
 賊ハ益々集團跳梁スルニ至レルヲ以  
 テ師團ハ治安肅正ノ徹底ヲ期スル  
 爲東部地區中重點ヲ木蘭及通河縣  
 地方賓縣及其南方賓綏線兩側地區  
 並五常縣西部地方ニ指向シ松花江  
 以北地區ニ步兵第六旅團長ノ指揮  
 スル約歩兵五大隊及騎兵一聯隊滿

軍八團ヲ、松花江以南地區ニ步兵第  
 十八旅團長ノ指揮スル約歩兵六大  
 隊及滿軍四團ヲ配置シテ治安肅正  
 ヲ擔任セシメタリ、各部隊ハ連日連  
 夜山河ヲ跋涉シ林野ヲ縫ヒ匪賊ヲ  
 索メテ果敢ニ急襲シ之カ剽滅ニ精  
 進セリ、其結果匪賊ハ大打撃ヲ蒙リ  
 根拠地ヲ喪ヒ越冬ヲ準備スルノ遑

ナク奔逃ヲ續ケ逐次分裂シ窮餘山  
 林地帯ニ潛伏シ或ハ他方面ニ逸逃  
 シ又ハ都邑ニ良民ヲ裝ヒテ隠レ或  
 ハ皇軍ノ威ニ伏シ其非ヲ悟リテ  
 歸順スルニ至リ重點地域ニ於ケル  
 治安ハ著シク肅正セラレタリ  
 然レトモ尚殘匪ハ再起ノ機ヲ窺ヒ  
 或ハ邊境ノ地ニ蟠踞シテ跳梁スル

モノアリテ全地域ニ於ケル治安ノ  
 肅正未タ完カラス

茲ニ於テ師團ハ十二月以降第三期  
 治安肅正ニ關スル軍命令ニ基キ既  
 得肅正成果ノ保持擴大ニ努ムルト  
 共ニ關係日滿軍警及諸機關ト緊密  
 ニ連繫協力シテ其他ノ地域ノ肅正  
 ヲ企圖シ各部隊ハ長期ニ互ル連續

的行動ニ引續キ肅正諸工作ニ邁進  
 シ人家極メテ稀ナル山林地帯ニ行  
 動シ凜烈タル寒威ヲ冒シテ嶮山ヲ  
 攀ケ積雪尺餘ノ林野ヲ潛行シ夜ハ  
 天幕ニ露營シテ具サニ辛酸ヲ嘗メ  
 ツツ銳意殘匪ノ索出剿滅ニ努力シ  
 アリ

尚竊餘都邑ニ潛入蟄伏セル匪徒ニ

對シテハ、之カ檢索檢舉ニ努メ、又關係諸機關ヲ督勵シテ、治本工作ノ進展ヲ圖リ、治標工作ニ追隨シ、肅正成果ノ確保強化ニ努メシメツツアルモ、未タ之カ進展捗シカラス

治安維持ハ、滿洲國諸機關ノ自立自衛ヲ目標トシテ指導シアリテ、治安肅正上、治本工作就中先ツ匪民分離

ノ爲メ集團部落ノ結成保甲制度ノ  
 確立強化警備用道路通信網ノ構築  
 ノ効果大ナルニ鑑ミ關係當事者ヲ  
 シテ本冬季間十分ナル研究ト準備  
 トヲ行ハシメ春陽來復ト共ニ捲土  
 重來大イニ本工作ノ進展ヲ圖ラシ  
 ムル如ク企圖シツツアリ  
 隣接兵團及海軍防備隊トハ隨時緊

密ニ克ク協方シツツアリ  
 中防衛地區内滿軍ハ本職ノ區處下  
 ニ克ク團下各部隊ト密ニ連繫協力  
 シアリ滿軍ニ對シテハ特ニ成ルヘ  
 ク又ヲ一地區ニ集結使用シ獨力治  
 安肅正ニ任セシメ其能力向上ニ資  
 シツツアリ其素質編成裝備等未タ  
 完備セス獨立的肅正能力尚十分ナ



ラサルモ其能力ハ逐日向ヒ近時  
日本軍ノ指導及一部ノ支援ノ下ニ  
著、成果ヲ收メツツアルハ欣快トス  
ル所ニシテ日滿共同防衛ノ見地ヨ  
リ將來一層之カ指導ニ努ムヘク期  
シツツアリ

0348

昨年十二月上旬以降本年十一月末  
迄ニ於ケル師團治安肅正成果附表

第一ノ如シ

二、軍紀風紀

軍紀風紀ハ駐滿漸ク久シク部隊ノ  
 今駐亦著シキニ鑑ミ特ニ幹部ノ率  
 先無範ト信賞必罰森嚴ナル一面ニ  
 於テ道義ニ基ク温情アル指導トヲ  
 要望シ概ネ嚴正ニ保持セラレアル  
 モノト認ム

然レトモ尚若干ノ刑懲罰者ヲ出シ  
タルハ遺憾トスル所ナリ

本年二月事件ニ關シ嫌疑ヲ受ケシ  
將校ヲ出シタルハ甚タ遺憾トスル  
所ナルモ今ヤ全員其嫌疑晴レ一意  
忠誠軍務ニ精勵シアリテ些ノ懸念  
ヲ要セス

昭和十一年十二月上旬以降本年十

一月末迄ニ於ケル師團刑懲罰者數  
 附表第二ノ如シ  
 將來將校以下ヲシテ一層 皇軍ノ  
 意識ニ透徹セシムルト共ニ克己心  
 ヲ昂揚ヒシメ以テ益々軍紀風紀ノ緊  
 肅ヲ期シツツアリ

三志 氣 及 團 結

將校以下志氣旺盛ニシテ各隊長以

下渾然一體鞏固ナル團結ノ下ニ軍  
務ニ精勵シツツアリ

### 四 服 務

將校以下ノ服務ハ眞摯熱誠ニシテ  
克ク駐滿ノ重責ヲ自覺シ連續的肅  
正行動及繁劇ナル勤務ニ因ル困苦  
ヲ克服シ潑刺タル意氣ヲ以テ各其  
職務ニ精勵シ其成績概ニ良好ナリ

五、教育

昨年度教育ハ昨年十二月以來屢次  
ノ討匪行動及繁劇ナル勤務等ニ依  
リ系統的普遍的教育ノ實施ニ著シ  
キ障碍ヲ受ケ殊ニ歩兵ニ於テハ大  
部隊ノ訓練ノ實施不十分ナリシモ  
各部隊長以下ノ精勵努力ニ依リ概  
木小部隊ノ訓練ヲ完成シ殊ニ討匪

行動ニ依リ實戰的訓練ハ一段ノ成  
果ヲ收得シ作戰準備ニ支障ナキモ  
ノト認ム

昨年度教育ニ關シテハ昨年度教育  
ノ狀況ニ鑑ミ十二月末以後教育ノ

勵行ト幹部ノ能力向上トヲ圖リ以  
テ益々精銳ナル軍隊ノ練成ニ努メン

コトヲ期シツツアリ

## 六、動員

動員計畫ハ隨時ノ出動ニ支障ナシ  
但部隊裝備ニ必要ナル滿洲馬用馱  
鞍ハ既ニ成案ヲ得逐次之カ整備ニ  
着手セリ

師團ハ目下交通不便ナル廣地域ニ  
分散配置シアルヲ以テ有事ノ際全  
力ヲ鐵道沿線附近ニ集結スルニハ



概ネ四日ヲ要スヘキ現況ニ在リ

七兵器

兵器一般ノ状態ハ概ネ良好ニシテ  
 教育訓練及動員ニ支障ナシ然レト  
 モ討伐並氣象風土ニ因ル惡影響大  
 ナルヲ以テ特ニ既往ノ經驗ニ鑑ミ  
 對策ヲ確立シ保存整備ニ遺憾ナキ  
 ヲ期シツツアリ

## 入經理

經理ニ關スル諸般ノ施設並給與ハ  
 順調ニ實施セラレツツアリ  
 治安肅正ノ爲出動セル部隊ノ給養  
 補給ノ状態亦概ネ良好ナリ

## 九人衛生

將校以下ノ保健及榮養状態ハ概ネ  
 良好ニシテ特ニ治安肅正ノ爲出動

中ノ部隊ハ幾多ノ障碍ヲ克服シ兵  
員保育ノ向上ヲ期シツツアリ

昨年十二月上旬以降本年十一月末  
迄ニ於ケル師團患者數ハ附表第三  
ノ如シ

結核性胸部疾患及急性傳染病ノ防  
遏ニ就テハ銳意努力セルモ氣候風  
土ノ感作討伐訓練諸勤務ニ伴フ過

勞給水兵營施設ノ不備等ニ基因ス  
 ル此等疾患ニ依ル減耗ノ尠カラサ  
 ルハ尠ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ  
 十馬事

保管馬ノ資格ハ一般ニ良好ニシテ  
 能力發揮上遺憾ナキ状態ニ在リ新  
 馬ノ保育調教ハ順調ニ進捗シツツ  
 アリ

衛生状態ハ概ネ良好ナルモ昨年十  
 二月上旬以降本年十一月末迄ニ於  
 ケル病馬總數ハ約一五〇〇頭ヲ算  
 之此間戦死六頭、發斃及殺處分三一  
 頭ノ損耗ヲ出セリ

十一、皇軍ト地方官民トノ關係

皇軍ト地方官民トノ關係ハ圓滿ナ

リ

一般地方官民ノ皇軍ニ對スル崇  
 敬倚存ノ念ハ益々強ク治安維持ニ關  
 シ進テ指導ヲ受ケ或ハ皇軍ノ行  
 動ニ關シ諸種ノ便宜ヲ供與シツツ  
 アリ又戦歿者及傷病兵ニ對スル弔  
 慰ノ情極メテ敦厚ナリ  
 本初秋哈爾賓防空演習ニ方リテハ  
 一般官民本職ノ統制指導ノ下ニ其

行動ヲ律シ克ク演習ノ目的ヲ達成  
シタルハ軍民一致ノ實ヲ顯現セル  
モノト認ム

文ヲ要スルニ師團ハ將校以下志氣益々  
旺盛ニ上下一致鞏固ナル團結ヲ堅持  
シ各種ノ不便ト困難トヲ克服シ教育

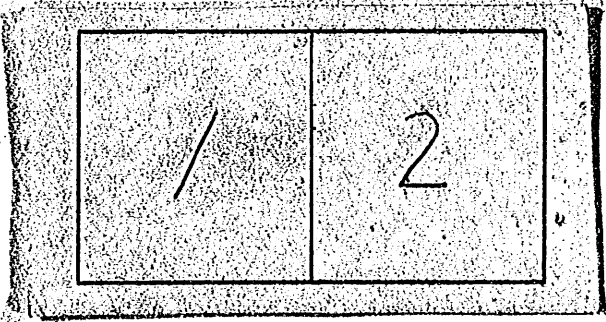


2980

將々治安肅正ニ邁進シツツアリ  
作戰準備亦完整シ有事ノ際第一線兵

團トシテ任務達成ニ支障ナク今後引  
續キ治安肅正ニ精進スルト共ニ新春  
早ニ初年兵ヲ迎へ愈ニ精銳ナル軍隊ノ練  
成ヲ期シツツアリテ諸般ノ状況概ネ  
良好ナルヲ報告シ得ルハ洵ニ欣快ト  
スル所ナリ



# 分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の撮 影 順 序</p>	
<p>分割撮影 した 理 由</p>	<p>A 3 判以上のため</p>
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>11 年 7 月 22 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者</p> <p>上野英樹  </p>	

附表第一

自昭和十年十二月一日  
至昭和十一年十月三十日  
第九師團治安肅正成果一覽表

月別	交遭		肅正		成果		我損		害傷	
	數	回	匪	遺	獲	獲	戰死	傷死	將	兵
昭和十一年十月	三	五	一	一	六	二	一	一	一	一
昭和十一年九月	四	一五	一〇	一	五三	二四	一	一	一	一
昭和十一年八月	三	二四	九	一	二四	一七	一	一	一	一
昭和十一年七月	二六	一八七	二四	一	一一	一	一	一	一	一
昭和十一年六月	一八	七二	一七	一	九三	二〇	一	一	一	一
昭和十一年五月	二六	一八七	二四	一	一一	一	一	一	一	一
昭和十一年四月	七	三四	一	一	五三	二七	一	一	一	一
昭和十一年三月	七	一〇	五	一	一六	一七	一	一	一	一
昭和十一年二月	三	二四	九	一	二四	一七	一	一	一	一
昭和十一年一月	四	一五	一〇	一	五三	二四	一	一	一	一
昭和十一年合計	三〇	二七五	二〇	一	二〇	二〇	一	一	一	一

備考  
 一 本表ハ交戦外ノ檢索・掃蕩・歸順等ニ依ル成果ヲ含ムモノトス  
 二 本表中ニハ他兵團ニ配屬セル部隊ノ成果ヲ含ミ他兵團ヨリ配屬セラレタル部隊ノ成果ヲ除クモノトス  
 三 中防衛地區内ニ於ケル他兵團及滿軍警ノ肅正成果ヲ含マヌ  
 四 肉獲兵器ノ小銃中ニハ洋砲・騎銃ヲ合算シアルモノトス  
 五 戦死者ノ階級ハ其當時ノ階級ヲ以テ示スモノトス  
 六 戦死傷者中ニハ戦闘外ニ於ケル公務死ヲ含マヌ  
 七 肉獲品中衣服・糧秣其他多數アルモ適確ナル數ヲ以テ表ハスコト

0364

**考 備**

一 本表ハ交戦外ノ檢索・掃蕩・歸順等ニ依ル成果ヲ含ムモノトス  
 二 本表中ニハ他兵團ニ配屬セル部隊ノ成果ヲ含ミ他兵團ヨリ配屬セ  
 ラレタル部隊ノ成果ヲ除クモノトス  
 三 中防衛地區内ニ於ケル他兵團及滿軍警ノ肅正成果ヲ含マス  
 四 鹵獲兵器ノ小銃中ニハ洋砲・騎銃ヲ合算シアルモノトス  
 五 戦死者ノ階級ハ其當時ノ階級ヲ以テ示スモノトス  
 六 戦死傷者中ニハ戦鬪外ニ於ケル公務死ヲ含マス  
 七 鹵獲品中衣服・糧秣其他多數アルモ適確ナル數ヲ以テ表ハスコト  
 困難ナルヲ以テ之ヲ削除ス

合計	九月	十月	十月
死	五	三	七
30,075	2,749	7,732	3,725
二〇九	一五〇	四五	五九
七五三	四五	一六〇	一五九
三三〇	三三	六四	二七四
二四三	四一〇	七	五
三九	八	九三	四三
輕機 2 981	67	199	260
33,488	1,815	9,439	1,293
451	14	113	140
6,176	195	1,219	1,781
149	1	51	43
122	1	38	37
七			
三			
一六			
一三			
四			
二八			

附表第三

自昭和十年十二月一日  
至昭和十一年十一月三十日  
第九師團刑懲罰者一覽表

昭和十年						昭和十年十二月	別級別	種階類	處刑者
六月	五月	四月	三月	二月	一月				
		一							
				一					
		一		一					
二		二		一	一				
四	一	六	一	一	二	一			
三	二	一	七	三	一				
九	三	九	八	五	四	一			

考	備	合 計	年				
			十一月	十月	九月	八月	七月
	一、残置及留守部隊ニ關スルモノハ本表ニ含まサルモノトス						
		四			一	一	一
		一					
		五			一	一	一
		一六	二	一	三		四
		二六	二	二			六
		二八	三	二	二		四
		七〇	七	五	五		一四



附表第三

自昭和十年十月一日  
至昭和十一年十一月三十日  
第九師團患者表

新患		内地還送患者總數	患疾		主		區分	員數
戰傷	內結核胸膜炎		其	凍	戰(傷)死及戰傷	結核胸膜炎		
二	八	三	五	二	三	一	五	八
四	五	九	一	〇	二	三	四	六
		八	一	七	八	四		



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="523 465 970 853"><tr><td data-bbox="592 472 911 651">2</td></tr><tr><td data-bbox="592 651 911 846">1</td></tr></table>	2	1
2			
1			
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため		
<p data-bbox="268 1220 1316 1384">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="352 1541 933 1608">// 年 7 月 22 日</p> <p data-bbox="534 1720 831 1787">主務者又は</p> <p data-bbox="534 1883 831 1951">撮影立会者</p> <p data-bbox="1007 1899 1428 1966">上野英樹  </p>			



# 中防地區兵力配置要圖

(昭和十一年一月末日於此)

極秘

附圖第一

## 備考

青ハ圖下各部隊及臨時配屬部隊ノ  
 配置ヲ赤ハ獨立守備隊ノ配置ヲ示ス  
 及  
 Ⅱ(5)  
 Ⅱ(6)  
 Ⅱ(7)  
 Ⅱ(8)  
 Ⅱ(9)  
 Ⅱ(10)  
 Ⅱ(11)  
 Ⅱ(12)  
 Ⅱ(13)  
 Ⅱ(14)  
 Ⅱ(15)  
 Ⅱ(16)  
 Ⅱ(17)  
 Ⅱ(18)  
 Ⅱ(19)  
 Ⅱ(20)  
 Ⅱ(21)  
 Ⅱ(22)  
 Ⅱ(23)  
 Ⅱ(24)  
 Ⅱ(25)  
 Ⅱ(26)  
 Ⅱ(27)  
 Ⅱ(28)  
 Ⅱ(29)  
 Ⅱ(30)  
 Ⅱ(31)  
 Ⅱ(32)  
 Ⅱ(33)  
 Ⅱ(34)  
 Ⅱ(35)  
 Ⅱ(36)  
 Ⅱ(37)  
 Ⅱ(38)  
 Ⅱ(39)  
 Ⅱ(40)  
 Ⅱ(41)  
 Ⅱ(42)  
 Ⅱ(43)  
 Ⅱ(44)  
 Ⅱ(45)  
 Ⅱ(46)  
 Ⅱ(47)  
 Ⅱ(48)  
 Ⅱ(49)  
 Ⅱ(50)  
 Ⅱ(51)  
 Ⅱ(52)  
 Ⅱ(53)  
 Ⅱ(54)  
 Ⅱ(55)  
 Ⅱ(56)  
 Ⅱ(57)  
 Ⅱ(58)  
 Ⅱ(59)  
 Ⅱ(60)  
 Ⅱ(61)  
 Ⅱ(62)  
 Ⅱ(63)  
 Ⅱ(64)  
 Ⅱ(65)  
 Ⅱ(66)  
 Ⅱ(67)  
 Ⅱ(68)  
 Ⅱ(69)  
 Ⅱ(70)  
 Ⅱ(71)  
 Ⅱ(72)  
 Ⅱ(73)  
 Ⅱ(74)  
 Ⅱ(75)  
 Ⅱ(76)  
 Ⅱ(77)  
 Ⅱ(78)  
 Ⅱ(79)  
 Ⅱ(80)  
 Ⅱ(81)  
 Ⅱ(82)  
 Ⅱ(83)  
 Ⅱ(84)  
 Ⅱ(85)  
 Ⅱ(86)  
 Ⅱ(87)  
 Ⅱ(88)  
 Ⅱ(89)  
 Ⅱ(90)  
 Ⅱ(91)  
 Ⅱ(92)  
 Ⅱ(93)  
 Ⅱ(94)  
 Ⅱ(95)  
 Ⅱ(96)  
 Ⅱ(97)  
 Ⅱ(98)  
 Ⅱ(99)  
 Ⅱ(100)

